

はじめに

2004年度は、活動が12月中旬までずれ込んだために、報告書作成着手が実質的に年明けとなり、予定通りの発行が危ぶまれましたが、委員各位の努力は固より、執筆をお願いした方々のご尽力、事務局のご協力により、ここに例年通り発行することが出来ました。発行に際して、編集実務に携わっていただいた方々、ご講演をご快諾いただいた講師の先生、現地調査でお世話になった方々、注目技術ご執筆諸氏には、厚くお礼申し上げます。

本年度も昨年度に続き、画像技術というアイテムを核にして、ご講演や現地調査を企画いたしました。ご講演では、画像技術に多大な影響を及ぼすネットワーク技術や最近話題になっているユビキタスというテーマでお話いただき、様々な方面から多数の参加がありました。またデジタル画像機器と印刷との境界が変化している中で、印刷の専門家にご意見をいただくとともに、デジタルペーパーその他リライタブル技術の専門家のお考えを伺うべく現地調査を行いました。この企画は広く参加希望者を募りました結果、多数のご参加をいただきました。更には将来の画像技術を担うであろうナノテクノロジーに関する展示会の視察も行いました。

いずれにしても、当協会に参画されている方々が、ペーパーメディアの重要性とそこからの更なる飛躍をどうするか、急速に展開するネットワーク社会の中でペーパーおよびディスプレイを含む画像技術がどうあるべきか、あるいはどうなってゆくのか、模索しておられるのがよく分かり、このような企画は今後も必要であると再認識いたしました。

技術調査は、従来どおり各社新製品の技術動向を各委員が分担してまとめました。MFPは、カラー化、ネットワークとしての中心機器化がより鮮明となっている傾向が顕著に出ています。またプリンタは単能機のみならず、MFPへの志向をより強めているのが視えます。このように新製品はデジタル化一色であります。JBMAの調査報告書にありますように出荷台数ベースではまだアナログ機も健在です。アナログ機は新たに開発せず既存製品で対応しているものと思われま。注目技術では、環境への配慮、カラー化対応による高画質化、ネットワーク機器としての多様な用途、などが見受けられます。

なお時代に即応しまして、一昨年度より電子化による閲覧としましたが、本年度もPDFによる電子出版といたしました。これにより、経済的にも時間的にも編集の負担が小さくなり、より実活動に予算と時間が割けることから、今後もその予定です。

最後に、重複いたしますが、ご講演講師、現地調査セッティングにご尽力いただいた方々、ご多忙の中原稿執筆をご快諾いただいた方々、当小委員会委員、そして事務局の皆様には、改めてここに深謝する次第でございます。

2004年4月

技術委員会 技術調査小委員会  
委員長 伊藤 昇

禁無断転載

2004 年度  
事務機器関連技術調査報告書(“はじめに”部)

発行 社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会  
技術委員会 技術調査小委員会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目21番19号  
秀和第2虎ノ門ビル

電話 03-3503-9821

FAX 03-3591-3646